

1 【防災頭巾の選定基準】

区立小学校・幼稚園では、子どもが地震や火事などの際に、軽量の落下物や火災の炎から頭部を保護するため、防災頭巾を使用します。防災頭巾の安全性については、平成22年9月に独立行政法人国民生活センターが防災性能や耐衝撃性などのテストを実施しており、それによると銘柄によって性能に差があることが明らかになっています。非常時の安全を確保するため、防災頭巾の選定は、次の事項に注意して行うようお願いします。

1. 詰物が使用によって偏らない構造や劣化しにくい素材かどうか。

詰物が偏ったり、劣化しては衝撃吸収性能が発揮されないことから、詰物の偏らない縫製になっていることや、ウレタンのような劣化しやすい素材を使用していないかなどを確認してください。

2. 防災性能が確保されているかどうか。

「難燃生地」「防災加工」「炎燃えにくい」等と防災や難燃加工を謳っていても、その性能が発揮されず、接炎を止めても燃焼が続き、焼失してしまうものがあります。必ず防災性能を確認してください。

※ (財) 日本防災協会の認定品が選定の目安となります。

日本防災協会の認定品には、防災製品ラベルが付与されています。



防災頭巾の手入れについて

防災頭巾は長期休業前等に自宅に持ち帰りますので、以下のことに注意して確認や手入れを行ってください。

◆傷みがないか。

平常時に座布団代わり等に使用するなどして押しつぶされるため、詰物が偏ったり、側地などが劣化することがあります。側地の破れや毛玉の発生、詰物の露出や偏りなど、経年により劣化していないかどうか確認してください。

◆手入れの方法があっているか。

洗濯をすると性能が落ちる場合があります。洗濯の可否などについて表示を確認し、それに従って手入れを行ってください。

◆子どもの頭のサイズにあっているか。

頭部を守るためには、サイズが頭部の大きさに適していることが必要です。子どもの成長にあったサイズになっているかどうか確認してください。